

県政を
身近に

あらい絹世の磯っ子レポート

県議会議員

地域に根ざした医療を

神奈川県は「県民が、いつでも、どこでも、誰でも等しく良質かつ適切な保険医療サービスをうけられる」という基本原則に基づき医療体制の整備を行ってきました。しかし、これまでの医療施策は、医療を提供する側を中心に組み立てられており、本来は患者や家族の立場に立った医療でなくてはなりません。今後10年先を見据え、神奈川県の医療を見直し、課題解決の方向性・取組みをしめした「医療のグランドデザイン」がまとめられました。地域に根ざした医療 開かれた医療と透明性の確保 病気になる取組みの推進、3つの検討視点に基づき取組みを進めることで「県民・患者が納得する医療」「県民の健康維持・増進」を実現していきます。

特に「地域に根ざした医療」については、これからの超高齢社会に向けて、急性期から在宅、介護まで切れ目のない包括的なサービスの提供や身近な医療を支える休日救急診療所の医療機能の強化などが課題となっています。平成21年度の内閣府調査では、「自宅で人生の最期を迎えたい」と希望する人が全体の54.6%に上り、今回の診療報酬改定でも在宅医療の強化が位置づけられています。在宅医療は、医師や看護師や薬剤師・歯科医師、ケアマネージャーなど様々な職種の人が必要となり、その人たちの連携が重要です。また開業医が在宅医療を行うには、緊急時に患者を受け入れてくれる後方支援病院が必要ですが、開業医と後方支援病院と連携も今後の課題です。

在宅医療は高齢者に対するイメージが強いですが、小児在宅医療も重要性を増しています。特に新生児医療などの発達により救命率が向上している一方で、後遺症により人工呼吸器など医療機器に依存して生活せざるをえない重症児が増えています。そのような子供たちが長期入院を余儀なくされることによってNICU（新生児集中治療室）の慢性的な病床不足が生じています。また、長期入院は子供たちにとって家族との接触が損なわれてしまいます。小児在宅医療を進め、それと同時に小児在宅医療の課題である家族の負担をケアする「レスパイトケア」も合わせて取り組むべきです。

今、磯子区の汐見台病院の今後のあり方について県でも検討がなされていますが、今後必要性が増す在宅医療の後方支援病院として、また小児在宅医療の家族のレスパイトケアの場として、汐見台病院が地域に根ざした医療を担う新しいモデル病院となるよう提案してまいります。

患者が在宅医療・入院治療を選択出来るよう選択肢を増やす事が「県民・患者が納得する医療」に繋がると考えます。

レスパイトケア：在宅でケアしている家族を癒やすため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス



あらい絹世プロフィール

昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
日商岩井(株) / (株)メタルワン
社会問題対策特別委員

ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走
自民党かながわ政治大学12期生
平成23年4月 県議会議員初当選
厚生常任委員

平成24年度は
「厚生常任委員会」・「社会問題対策特別委員会」
 に所属が決まりました。

厚生常任委員会

子ども・高齢者・障害児者などの福祉、保健・医療対策、健康づくり、食の安全、そのほか保健福祉局の仕事について審査する委員会です。乳幼児や障害児・者、高齢者など在宅で介護・看護している家族をケアする「レスパイトケア」支援など行ってまいりたいと考えます。

社会問題対策特別委員会

子育て支援・青少年健全育成、高齢者支援、消費者・買い物弱者問題、自殺対策、治安対策、米軍基地問題について調査する委員会です。子育て支援や増加している若者の自殺対策、地域における高齢者の支援など検討してまいりたいと考えます。

議会あれ？これ？

議場は背広でも可

明治32年の制定された会議規則では、議場入場者の服装を「洋服又は羽織袴を着用すべき」と規定されています。会議において厳粛性を保持する必要上、何時の頃からか「洋服」の次に(背広は除く)の字句が挿入され「モーニング」又は「フロックコート」でなければ議場に列席することが出来ないようになりました。この規定は大正8年改正案が出され、現在の神奈川県議会会議規則では議場入場者の服装は「議場に入る者は、服装を見苦しくないようにしなければならない。」となり、現在では背広でも可となりました。(本年は5月から10月の間はクールビズ期間となり、ネクタイの着用も不要となっています。)

次回の
お題は **「星」**

時節の川柳大募集



先月のお題は「雨」
沢山のご投稿有り難う
ございます

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みはFAXで(締め切りは6月27日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

雨もりが
奏でる我が家の
子守歌(横浜さん)

入梅で
恋をささやく
雨がえる(丸さん)

雨ふると
あいあい傘の
嬉しさよ(いせじやん)

